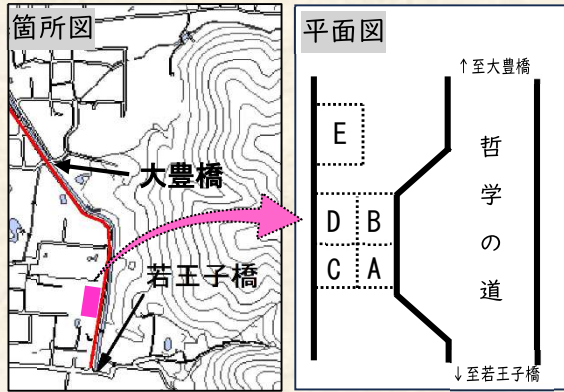


～試験施工の概要～土系舗装の検討



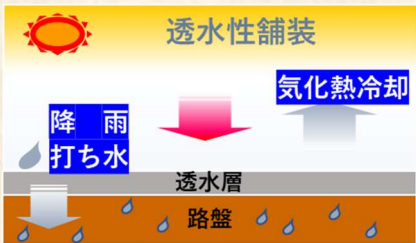
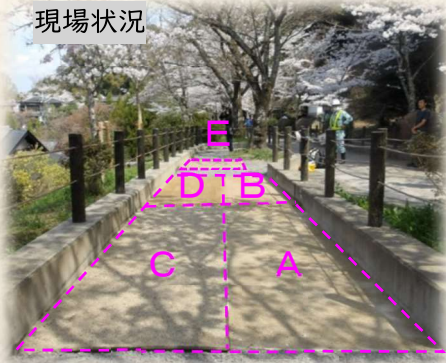
今回試している舗装とは  
公園の園路等で使用されることが多い「土系舗装(透水性舗装)」を試しています。透水性舗装とは透水層を通して地中が水を蓄え、蒸発することで路面の温度上昇を抑制します。

なぜ試験施工を行うか  
土系舗装をゾーン2で採用する予定ですが、道路(歩道)での事例が少ないため、試験施工等により周辺環境との調和、風合い、耐久性等を確認するため実施しています。

どのように決めるか  
各舗装を比較しながら、最終的な舗装方法については、京都市が判断します。

御意見をお聞かせ下さい  
実際に現地で歩き心地を体感いただくとともに、見た目、周辺環境との調和など感じた率直なご意見をお待ちしております。お問い合わせ・御意見は左京土木みどり事務所までお願いいたします。

現場状況



会議の資料、摘録は京都市情報館に掲載しています。

発行：哲学の道デザイン検討会議事務局  
京都市：土木管理課（電話：075-222-3568）  
京都市：左京土木みどり事務所（電話：075-791-9134）

道路や公園で損傷箇所を見つけたら「みっけ隊」アプリで投稿しよう！

「みっけ隊」はスマートフォンから道路等の損傷箇所を写真と地図情報で投稿できるアプリです。ぜひ、みっけ隊アプリをダウンロードして投稿して下さい！



みっけ隊 で検索！

みっけ隊ホームページ  
<https://mikketai.city.kyoto.lg.jp>



皆さんからの投稿お待ちしております！



令和8年5月

哲学の道デザイン検討会議ニュースレター

Vol. 5

京都市では、哲学の道の路面デザインについて、京都にふさわしい景観に調和しかつ安全で通行しやすい道となるよう「哲学の道デザイン検討会議」を設置し、専門家や地域の方々との議論を重ねてまいりました。

この度、令和8年3月25日(水)に最終回となる第5回の会議を開催し、事務局(京都市)からこれまでの検討内容の振り返りやゾーンごとの路面デザインの基本方針を説明した後、委員の皆様から基本方針について、様々な御意見を頂戴しましたので御紹介させていただきます。

また、本会議の開催にあたり、貴重な御意見をお寄せくださった方々、御協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

今後は、第5回デザイン検討会議の資料と頂いた御意見、現在実施している試験施工の結果等をもとに京都市において、整備の方針を決定します。

～第5回 哲学の道デザイン検討会議の様子～



会議で出た御意見は裏面を御覧ください→ P1

# 事務局が提案した基本方針



店舗・住居や  
月極駐車場が多いエリア

車両通行可

風致地区等

**ゾーン1**

**車両通行に対応しつつ、環境に配慮した景観系舗装**

防塵・平坦性      保水性      段階的に工事

- 周辺景観との調和や路面温度上昇などに配慮した「地道風保水性舗装」を基本案とする。
- 他のゾーンと色彩等を揃え、統一感と連続性を持たせる。

**ゾーン2**

**生活環境、地域のニーズに合った土系舗装**

防塵・平坦性      保水性・透水性      段階的に工事

- 土の風合いを継承する「柔らかい固め方」を、複数案の試験施工を通じて検討し、道路管理者（京都市）として責任を持って維持管理できる仕様を判断する。

**ゾーン3**

**現状を維持する砂利舗装**  
**自然的景観を維持する土系舗装**

防塵・平坦性      保水性・透水性      段階的に工事

- 現在の景観を尊重し、現状維持を基本方針としつつ、ゾーン2での試験施工の検証結果を踏まえ、将来的な整備方針を整理していく。

- ・事務局の基本方針に賛成する。
- ・ゾーン1について、現状の凸凹を綺麗に直した後、維持管理でも綺麗な状態を保ってほしい。

- ・哲学の道は特別な道だということを改めて共有できたと感じている。
- ・事務局の基本方針に対し、ゾーン1の保水性舗装については、補修時の色変わりや根上りの発生、保水性能の低下等の懸念があることから反対する。ゾーン2については、住民に寄り添っていただき、根拠のある科学的な検証をお願いしたい。ゾーン3は土の道で整備を行うという決断をしてほしい。

# ～各委員の皆様からいただいた主な御意見～

- ・基本方針について、全てのゾーンで概ね賛成する。
- ・ゾーン1は石畳風舗装を地道風にアレンジした保水性舗装に賛成している。ゾーン2は新技术を採用するという点に賛成だが柔らかい固め方に少し不安もあり、現在の試験施工を丁寧に進めていく必要があると思う。ゾーン3は現在の砂利舗装を維持するといった姿勢に賛成だが、経年劣化や交通量が増えて劣化が激しい場合には、ゾーン2のように柔らかく固めるといった検討も必要だと考える。

- ・ゾーンごとのテーマと基本方針に賛成する一方で、それを実現していくための課題はまだ残っており、丁寧な検討が重要と思う。
- ・側溝など舗装単体ではなく、全体の統一性を考慮してデザインしていくことが重要。
- ・施工や維持管理の視点から、土の道の良さもある一方で、車の通行や生活環境がある中で耐久性なども考慮して、固め方についてゾーンごとに段階で設けていく必要がある。
- ・サイン表示を検討するなど、自転車の高速通過を防ぐような工夫が必要だと思う。

- ・生活環境の違いによってゾーニングで舗装を変える案はいい方法だと思う。
- ・ゾーン1と3の基本方針には特に反対意見はない。ゾーン2は、寺ノ前橋より北の区間は車の通行を前提とした舗装が必要だと思う。
- ・哲学の道は生活道路で通学路でもあるので、地元の人たちの意見を丁寧に聞いて整備を進めていただきたい。ゾーンごとの整備でも、銀閣寺橋から若王子橋まで統一感のある舗装であってほしい。

- ・歴史のある哲学の道らしい安心安全、景観・環境・自然を保ちながら、ゾーン1は保水性舗装、ゾーン2は環境性能に適した舗装、ゾーン3は現状維持が良いと思う。
- ・舗装後もきめ細かいメンテナンスをお願いしたい。

- ・基本方針に賛成する。
- ・ゾーン3は砂利舗装だが一番水溜まりが多い場所であり、舗装すると水溜まりができず砂利も流れていかないので、いい環境になっていくと思う。
- ・舗装すると走行環境が良くなり、乗り物のスピードが上がったり車の通行量が増えるのではないかと心配する声があった。

- ・道路の機能としては、安全性、交通アクセス機能、維持管理、防災が重要で、ライフサイクルコストや景観、環境の視点も重要になってきている。
- ・全体の統一感は、土の道のイメージ（YR系の茶色っぽい色）をゾーン1から3まで維持することが必要かと思う。
- ・観光の散策道として整備された、社寺を起点とした重層的な歴史を持つ場所である。道だけではなく疎水と共に沿線のまちの景観の変遷を考えると重要と思う。お住まいの方が元気で、道に愛着を持って維持していくことが、風景のサステナビリティにおいて重要と思う。

- ・今までの議論のまとめと基本方針の考え方は、非常にうまくまとまっていると思う。ただ今後の実際の作業になると、難しい面があるのではないかと思います。
- ・先日、相国寺周辺で綺麗に整備された石畳風舗装を見たが、とても雰囲気のある道だった。哲学の道についても引き続き検討を進めていただきたいと思う。

- ・将来、土の道が今以上に人々に親しまれ、気候変動のことも認識されると考えている。
- ・会議について、回を重ねるごとに自分の描く哲学の道のイメージと違っていったが、最後に哲学の道保勝会が作成された他の委員の発言メモを読んで、同じ考えだと共感した。